

2024年1月22日～2024年3月23日の間に
当院において入院前に入退院サポートセンターにて
薬剤師の面談を
受けられた患者さん及びご家族の方へ

「PFM (Patient Flow Management=入院前からの切れ目ないサポート)
における薬剤師の関わり～現状と課題の調査～」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	近藤 えり子
研究分担者	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	渡邊 公美子
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	伊藤 友紀
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	萱 智史
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	難波 愛
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	薬剤師	勝村 登美子
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	副主任	森原 順子
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	副主任	安原 景子
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	副主任	山下 真史
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	主任	藤井 哲英
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	主任	池田 由佳
	川崎医科大学附属病院	薬剤部	部長	小林 美代子
	川崎医科大学附属病院	医療安全管理部	主任	二宮 洋子

1. 研究の概要

2018年より本格的にPFM (Patient Flow Management)として、主に手術や検査のため入院が決まった患者さんを対象に、入退院サポートセンターにおける看護師、栄養士、薬剤師等による入院前面談を開始いたしました。薬剤師は服用薬の確認、服薬状況、入院前に休薬 (薬をいったん中止すること)が必要な薬剤の有無と休薬の説明、薬剤アレルギー歴、副作用歴、市販薬/健康食品/サプリメントの確認等を行っております。特に手術の前、検査前に休薬が必要な薬剤の把握と患者さんへの休薬の説明が重要な業務の1つです。対応する薬剤師は現在13名で、交代で1名が担当していますが、面談時の情

報収集時に服用している薬の情報源が不足している事や、医師への確認が必要な時に医師が不在など、服用している薬剤情報の把握や休薬期間の確認に非常に時間をとられるケースがあります。このような状況の改善を目的として、開始から5年以上が経過した現況の把握と課題を抽出することを目的として調査を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年1月22日～2024年3月23日までの期間において、川崎医科大学附属病院へ入院前に、入退院サポートセンターにて薬剤師と面談された患者さんを対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

2024年1月22日～2024年3月23日までの間に入退院サポートセンターにおいて、PFMで対応した薬剤師が面談の状況を振り返り調査票に記録し、その結果を集計することにより面談時に服用薬の把握や休薬確認、患者さんへの説明がその場で完結しなかった割合を算出し、改善方法を検討します。

4) 使用する情報の種類

カルテ情報：患者ID、性別、年齢、診断名、診療科、入院目的、術式、検査名、検査値（腎機能、肝機能）、休薬が必要な薬剤の有無

PFM 担当薬剤師への振り返り調査より：面談日、予約の有無、服用薬の確認方法、当日確認時の不足情報の有無、不足情報、休薬が必要な薬剤（薬効群）、休薬が必要な薬剤（薬剤名）、医師の休薬指示の有無（面談までに）、医師の休薬指示が無かった、または疑義があった薬剤（薬効群）、医師の休薬指示が無かった、または疑義があった薬剤（薬剤名）、患者への休薬指示対応、休薬指示に至るまでの経過に関する特記事項、対応に困ったこと

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院薬剤部内で保存いたします。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年10月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 薬剤部

氏名：近藤 えり子

電話：086-462-1111 < 内線 22558 > （平日：9時00分～16時30分）

E-mail：ek-0718@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において資金の受入および使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。